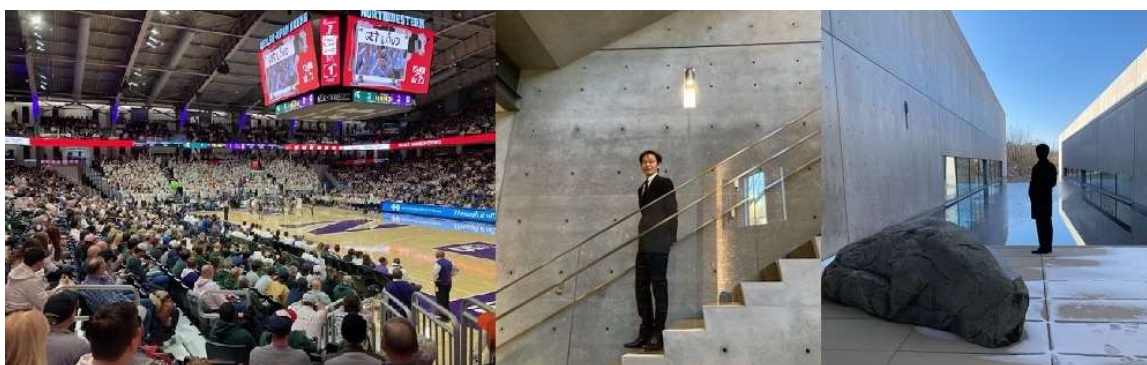


2024年1月31日

シカゴでは季節に応じたスポーツが盛んで、政治や経済の前にスポーツの話題から入る。新年最初の日曜日、冬がシーズンのカレッジ・バスケットボールを連邦議員に誘われて初めて観戦。地元の大声援を受けるノースウェスタン大のワイルドキャッツが強豪のミシガン州立大スパルタンズを相手に金星を挙げた。

1月は5回の出張が続いた。隙間時間に、コンクリート、ガラス、レンガなどの素材に囲まれた安藤忠雄氏の建築空間に身を置いてみた。



カレッジ・バスケットを観戦

シカゴの美術館

セントルイスの美術館

## 1 オスプレイ墜落事故を受けての葬儀参列

昨年11月29日、米軍横田基地所属のオスプレイが墜落し、8名の乗員がなくなったとの悲報に接し、日米の関係者は深い悲しみに包まれた。乗員の一人はミネソタ州出身。1月4日、地元の教会で葬儀が執り行われ、日本政府を代表して参列し、亡くなられた乗務員の御両親、義理のお父様（同じく横田勤務経験のある空軍関係者）に心からの哀悼の意を表した。

在日本軍関係者が、故郷や家族から遠く離れて、日本と地域の安全と平和を維持するとの日米同盟のミッションに日夜励んで貢献していることに感謝。

## 2 ホルコム・インディアナ知事の施政方針演説

インディアナのホルコム知事は、投資誘致を含めた対日関係に指導力とコミットメントを示してきた。1月9日、そのホルコム知事から招待を受けて、任期最後となる施政方針演説に参列し傍聴してきた。演説前に日本総領事が臨席していることが議場内に案内され、知事の演説中にも、対日関係に言及があった後、能登半島地震の被災者に対して温かいお見舞いの言葉が述べられた。

能登半島地震に際しては、バイデン大統領をはじめ、知事、姉妹都市関係のある市長、日米協会関係者などから、お見舞いや支援の用意があるとの温かいメッセージがたくさん寄せられている他、各地で義援金の動きも出ている。



ホルコム知事の施政方針演説

バルコニー席から会釈する

### 3 草の根民主主義の現場、アイオワ・コーカスを視察

大統領選は、政党が候補者を指名する前半戦（予備選挙とコーカス）と、各党の指名候補が大統領の座を競う後半戦（本選挙）に分かれる。例年、アイオワ・コーカス（党員集会）が初戦であり、全米と世界の注目が集まり、政治関係者、政治ファン、報道関係者が押し寄せる。そのため、ホテルや飲食業などにとっては稼ぎ時であり、州にとって経済的効果は大きい。

今回は、民主党が日程と方式を変更したため、共和党コーカスのみ開催となった。1月15日、厳寒と積雪の中で視察。党幹部の演説と各候補の応援演説、手続き事項が行われた後、有権者党員が、各自の支持候補者名を投票用紙に記入する。投票箱はなく、スーパーの紙袋に入れて集めている場所があれば、テーブルの上で有権者党員が投げ入れている場所もある。投票した者が見守る中で、1枚1枚手で仕分けしながら集計する。投票用紙にあたる紙片には「Presidential Straw Poll（模擬投票）」と記載されている。立候補者との距離が近く、参加意識が高まる様に、「米国の草の根民主主義の偉大さの源泉を

見た」との感想を漏らす外交団もいた。



紙袋を持って回る係員

テーブルの上に投票用紙を投げ入れる有権者

#### 4 シカゴとセントルイスの日本関連団体の新年会に出席

1月14日、シカゴ日本商工会議所の新年会に出席させて頂いた。今年のゲストの柳家東三様は、米国に移住して、国境を越えてRAKUGOを英語で世界に広めるという落語界では初めてのことに挑戦されている。500人を超える参加者を笑いの渦に巻き込んでいた。

1月19日～20日、ミズーリ州セントルイスの商工会、日米協会、日本人会の新年会に出席させて頂いた。商工会と日本人会は、コロナ禍の中断を経て4年振りの開催とのこと。

商工会は会員企業の駐在員とその家族の約190名が参加。セントルイス日本語教室に対して1万ドルの寄付贈呈が行われた。会長は「日系企業の横の繋がりとウィンウィンの関係を構築したい」とコメント。

日米協会新年会は、幹部、スポンサー企業、日本に関心をもつ米国人の会員を中心に約50名が郊外の寿司店に参集。三沢基地で空自に訓練を施していたという空軍OBも見かけた。長年の功績を持つゴーマン会長に外務大臣表彰を授与した。

日本人会新年会には、会員とその家族の約130名が参加。主な参加者は永住者、その配偶者であるアメリカ人、研究留学しているワシントン大学の医師等。ボストンから取り寄せた新鮮な刺身を皆で楽しんでいた。

日本語教室を訪問し、授業中の教室にお邪魔して先生と生徒からお話を伺った。文化紹介の一環として保護者がついた餅を美味しそうに食べている生徒も見かける。大学のスペースを2フロア借りた幼稚園から中学生までの補習校。

校長先生は在籍17年、教室は2027年に50周年を迎える。



シカゴ日本商工会議所新年会

日米協会会長に外務大臣表彰の伝達

## 5 ワシントンで連邦上院議員と面談

1月23日、ワシントンDC出張の機会に、前ネブラスカ州知事のピート・リケッツ連邦上院議員（共和党、ネブラスカ州、1期目）と面談した。リケッツ議員は州知事時代に数回にわたり貿易ミッションを率いて訪日、第50回日米中西部会をネブラスカ州オマハでホストした親日派。議員は、6月8日に予定されている日系人の「日本ホール」開所式や、NYやワシントンDCの地下鉄を製造している州都リンカーン所在の川崎重工の操業50周年など、日本・ネブラスカ関係にも気を配られていた。外交部会に所属している議員から、国際場裡における日本の貢献と役割に対するご意見も伺えた。

別れ際、味方であることを証明するとの逸話があるメダルを握手しながら渡された。



ピート・リケッツ連邦上院議員と



ネブラスカ州と日本は味方